

事業名 CD		市立図書館管理運営事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD		教育課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり	
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	小項目	生涯学習の推進	
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等	図書館設置条例
関連する事業	図書館活動推進事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	利用者の多様なニーズに応えた図書館資料の整備を図り、利用者に提供することにより、生涯学習機会を確保する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	図書館利用者
これまでの改善経過	平成6年度より常時2名(職員1名、非常勤1名)の体制になる。 平成17年度より常時3名(職員1名、臨時2名)の体制になる。 平成18年度より常時4名(職員1名、非常勤1名、臨時2名)の体制になる。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 ■市 □委託 □補助金 □その他()</p> <ul style="list-style-type: none"> 火曜日から日曜日までの週6日間、午前9時から午後5時まで図書館を開館。 登録者1名につき図書資料5冊(2週間期限)、視聴覚資料2本(1週間期限)を上限として貸し出す。 図書館の資料を利用した資料相談、利用者の調査・研究のために図書館資料の複写のサービスを行う。 貸し出し中の図書の予約の受付、図書館に所蔵されていない図書を他の図書館から借り受け、又は新たに購入して提供する。 広報や市のホームページで新刊書や休館日、イベント情報等を知らせる。
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	多くの市民に図書館を利用してもらい、利用者の求める資料を速やかに提供し、自己学習を支援する。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	13,303	13,638	13,230
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	13,303	13,638	13,230
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	1.02	1.02	1.02
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	7,047	6,959	6,853
D	総事業費(A+C) (千円)	20,350	20,597	20,083
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	627 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均等を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	年間貸出点数	1年間の貸出点数の総数(点) ※22年度は11ヶ月間	57,501	54,351	51,280
	来館者数	1年間の総来館者数(人)	30,213	27,543	24,718
	蔵書数	1年間の蔵書総数(冊)	76,947	80,293	83,490
成果指標	市民1人あたりの貸出点数	年間貸出点数/人口(点)	1.73	1.78	1.60
	利用者1人 //	年間貸出点数/総来館者数(点) 51,280点/24,718人	1.90	1.97	2.07
効率指標	1点あたりの貸出費用	総事業費/年間貸出点数(円) 20,083,000円/51,280点	353.9	378.9	391.6

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 学習の場の提供及び各種調査・研究等の支援を積極的にを行い、リクエストされた図書もなるべく購入するようにしてサービスを強化した。		
成 果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 貸出冊数が、2年連続で約3千冊ずつ減少した。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない 貸出冊数の減少に伴い、効率性が下がってきている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 図書館機能の充実と、貸出冊数、入館者数等を増加させる。	(2) 24 年度	(3) 23 年度 指定管理者の運営による新図書館の開館(9月より)
	22年度の改善計画		
22年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 個人・団体の図書館ボランティアを、イベントや館内整理作業等に活用する。			
課長所見	施設の狭あい、老朽化の中でも、一定の図書館機能を果たしてきた。新図書館の設置により、市民の読書活動を推進していく。		